



上半期報告書

2020年6月期
(2019.7.1～2019.12.31)



株主の皆さまへ

TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

上半期は引き続きコンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）が堅調だったことに加え、コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）も大型案件の受注により回復基調となり、連結売上高は前年同期比較で過去最高を更新しております。

2020年6月期は、「手掛ける事業領域の拡大」と「360°のビジネスモデル」を掛け合わせることを基本戦略として掲げ、事業拡大に向けた取り組みを行っております。学研プラスから、創刊39年を数えるアニメ雑誌「アニメメディア」を中心とした事業を取得し、日本を代表するアニメメディアグループへの足掛かりを築くなど、既存領域においても、より業界に大きな影響力を発揮できる規模へと事業拡大を図っております。また富士山マガジンサービスと合併会社を設立し、出版社向けのECサイト運営支援ならびに雑誌の世界観に基づくEC店舗の運営を開始、さらに連結子会社のエンファクトリーでは、企業の副業を支援するサービスを開始するなど、ビジネスモデルの拡充も進めております。

また第5次モビリティ革命を支援する「iid 5G Mobility」では、資本業務提携先のキャンピングカー株式会社がシリーズAラウンドの第三者割当増資を実施するなど、投資先も順調な成長を遂げており、アクセラレーターとしての取り組みが進展しております。

私たちイードグループは、今後もM&Aや事業開発を推進し、事業領域の拡大とビジネスモデルの拡充に注力し、事業機会の最大化を図ってまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集	5
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2020年上半期 業績ハイライト	3		

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



2020年上半期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は順調に推移し、前年同期比較で過去最高を更新
- ・連結の営業利益は、消費税増税後の一時的な景況悪化により前期を下回るもCMS事業は回復基調

連 結			
	上半期	前年同期	前期比
売上高	2,558	2,483	103.1%
営業利益	177	190	93.0%
営業利益率	6.9%	7.6%	△0.7pt

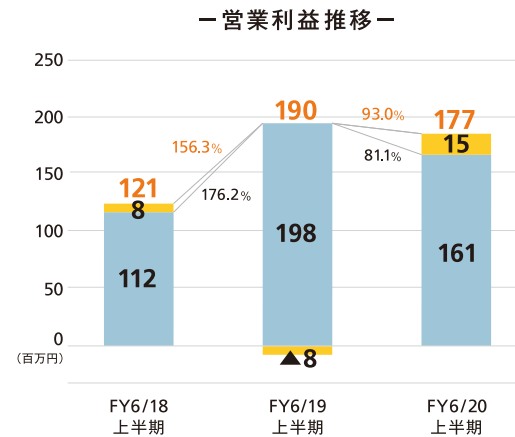
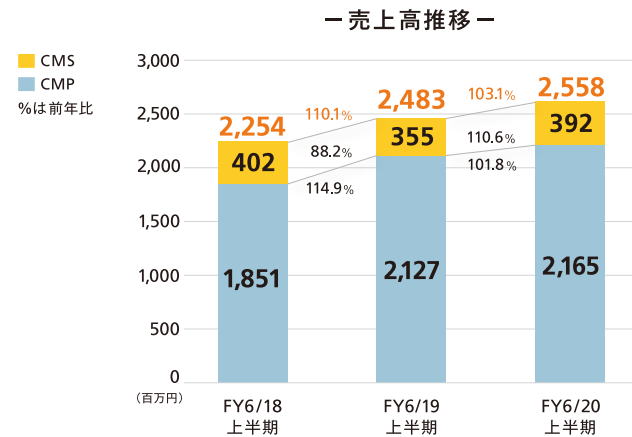
CMP			
	上半期	前年同期	前期比
売上高	2,165	2,127	101.8%
営業利益	161	198	81.1%
営業利益率	7.5%	9.3%	△1.8pt

CMS			
	上半期	前年同期	前期比
売上高	392	355	110.6%
営業利益	15	△8	—
営業利益率	4.0%	—	—

(百万円)

2020年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMS事業は大型案件の受注により売上高、営業利益ともに回復基調
- ・CMP事業の売上高は堅調なネット広告が増加となったが、外注費も増加し営業利益は減少



2020年上半期 進捗状況

- ・売上高は順調に推移、当期純利益は前年同期比16.7%増加し計画値を上回る

当上半期は売上高が2,558百万円（前年同期比3.1%増加）、営業利益は177百万円（前年同期比7.0%減少）、経常利益は178百万円（前年同期比8.0%減少）、当期純利益は139百万円（前年同期比16.7%増加）となりました。

CMP事業の運営メディアにおける当上半期の月間平均PV数は172百万PV/月で、前期の月間平均PV数180百万から4.1%減少、前上半期の月間平均PV数173百万からは0.4%減少となりました。売上高は、CMP事業において、ネット広告売上高が前年同期比12.8%増加したこと、CMS事業において、大型案件受注によりECソリューションの売上高が前年同期比44.8%の大幅増加をしたことで、前年同期および計画値を上回りました。

また、営業利益、経常利益は、消費税増税後の一時的な景況の悪化により計画値を下回ったものの、子会社株式の一部売却による特別利益の計上もあり、当期純利益は前年同期比および計画値を上回りました。

2020年上半期 貸借対照表

- ・純資産は利益剰余金の増加、自己株式の減少により前期末比641百万円増加

当上半期における総資産は3,890百万円（前期末比645百万円増加）となりました。これは主に現金及び預金が430百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が68百万円増加したこと、のれんが131百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は890百万円（前期末比3百万円増加）となりました。これは主に買掛金が31百万円減少したこと、子会社における長期借入金が43百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は3,000百万円（前期末比641百万円増加）となりました。これは主に利益剰余金が140百万円増加したこと、自己株式が451百万円減少したこと等によるものです。

	FY6/20 上半期			FY6/20 通期	
	実績	計画	計画比	通期計画	進捗率
売上高	2,558	2,525	101.3%	5,300	48.3%
営業利益	177	207	85.2%	350	50.5%
経常利益	178	207	85.9%	350	50.9%
当期純利益(※)	139	136	102.0%	230	60.5%

※当期純利益とは親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益のことです。

(百万円)

	FY6/20 上半期末	FY6/19 通期末	前期末比 増減額
流動資産	2,928	2,429	499
現金及び預金	1,956	1,526	430
固定資産	962	816	146
のれん	271	140	131
資産合計	3,890	3,245	645
流動負債	716	752	▲36
固定負債	173	133	40
負債合計	890	886	4
株主資本	2,930	2,302	628
利益剰余金	1,212	1,071	141
自己株式	▲40	▲492	452
純資産	3,000	2,359	641
負債・純資産	3,890	3,245	645

(百万円)

M&Aにより日本を代表するアニメメディアグループへ

学研プラスから「アニメディア」等のアニメ事業を取得。5G時代のコンテンツ展開を目指し、アニメ業界の発展に寄与します。

ウェブでは毎月200万人、2000万PVを超える閲覧数で日本最大級 月刊誌3誌と別冊・ムック・一般書も加えて多数のアニメユーザーにリーチ

これまでアニメに特化したウェブメディアとして「アニメ!アニメ!」「アニメ!アニメ! ビズ」を運営してきましたが、今回「アニメディア」及び関連事業を取得することで、今後は両社がこれまででも取り組んできた、番組制作・配信、イベント展開、音声やVTuber、海外展開などの新領域の開拓を積極的に進め、5G時代も脱んだコンテンツを取り揃えることで、日本を代表するコンテンツであるアニメの成長に寄与してまいります。

超!アニメディア



AnimeAnime.jp
アニメ!アニメ!

animeanime.biz
アニメ!アニメ!ビズ

「iid 5G Mobility」の取り組みについて

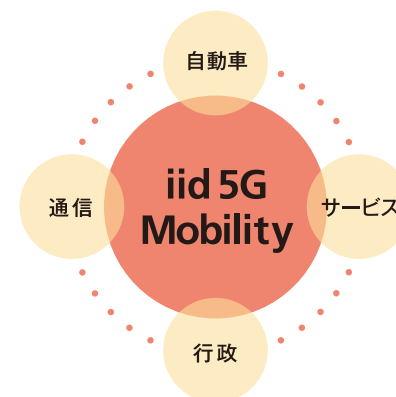
第5次モビリティ革命を支援する自動車特化型アクセラレーター「iid 5G Mobility」を通じて、MaaS (Mobility as a Service) 領域の事業開発、情報発信、進出企業支援や投資を行っています。

進化するMaaS領域においてセミナーを積極開催、 投資企業も成長ステージへ

「iid 5G Mobility」では、MaaS関連のセミナーを積極開催しています。大手、ベンチャー、地方自治体、政府、省庁、海外など、各方面から著名なスピーカーに登壇いただき、MaaS関連ビジネスを展開する企業へ向けた情報発信を行うことで、今後も自動車業界と通信業界をはじめとした関連企業の橋渡し役を担ってまいります。

開催実績

- 【MaaS2020】陸・海・空 ～ネットワーキングセミナー～
 - CES2020と自動車市場 ～ASEAN MaaSと街づくりビジネス～
 - 【MaaSセミナー】地方自治体・各社のMaaS最前線
 - 【レスポンスセミナー】CASE・MaaS時代の車内UI/UXの最前線
 - 【レスポンスセミナー】JR3社のMaaS戦略 ～東日本 / 西日本 / 四国～
- その他多数開催



資本業務提携先のキャンピングカー株式会社、2019年12月にシリーズAラウンドの第三者割当増資を実施するなど、投資先も順調な成長を遂げています。



メディアグロス支援における取り組みについて

株式会社富士山マガジンサービスと、出版社向けのECサイト運営支援事業および雑誌の世界観に基づくEC店舗の運営を共同で行う合弁会社「株式会社アイデア」を設立し、営業を開始しました。

ECプラットフォームと運営力を活かした出版社向けEC運営支援

株式会社アイデアは、日本最大級のオンライン雑誌書店「Fujisan.co.jp」を運営する富士山マガジンサービスが有する、趣味趣向性を高度に反映した約300万人の雑誌定期購読者データベースを活用した通販事業に加えて、イードが有する、ECサイト運営ASPサービス「marbleASP ECサービス」と、店舗運営に必要な不可欠な商品企画・商品調達のためのマーチャンダイジング(MD)機能を併せて提供し、出版社のECサイト運営を支援します。



アイデア取締役 COO
星 邦 博 氏

IDEA



アイデア代表取締役 CEO
松 延 秀 夫 氏

iid



Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

アイデアの事業は、ECサイト上での「店舗構築・商品企画・商品調達・潜在有力顧客向けのマーケティング支援パッケージング」といった、ECサイト運営で出版社が求める、読者・顧客のインサイト・本質を見据えた「ストーリーのあるプロフェッショナル・ツール」を提供するだけでなく、百貨店顧客×雑誌ブランド、テレビ番組視聴者×雑誌ブランドといった、雑誌ブランドを活用した通販事業をプロデュースすることで、出版社と共に、雑誌の新しい価値を創出することを目指しています。

グループ会社の取り組みについて

「働き方改革」や動画・音声サービスなど、専門性を活かした新たな事業領域に向けた取り組みを行っています。



エンファクトリーが企業向けの副業支援サービスを開始

エンファクトリーでは、企業に向けた副業支援サービス「副業特区」の提供を開始しました。「副業特区」は、エンファクトリーが運用する「Teamlancer (チームランサー)※」を活用し、労務リスクを可視化・チェックでき、企業が社員への副業・兼業などの越境活動を通じた自律的な学びの場を提供します。

※パラレルワーカーやフリーランスがチームやプロジェクトを通じて、自律的に学び、越境活動が行える機会提供プラットフォーム



人事は業務内容や労働時間など、
社員の副業活動がチェックできます。



絵本ナビとNTTドコモがキッズ向け動画・音声配信サービス「えほんどうが for dキッズ」を提供開始

「えほんどうが for dキッズ」には2つのコーナーがあります。

1.「どうがコーナー」

人気絵本が原作の動画を配信する「どうがコーナー」では、サービススタート時「はらぺこあおむし」をはじめ世界中で愛されているエリック・カールの5作品や、NHKのEテレで放送中のてれび絵本より、「はろのくれよん」、「こんとあき」、「モチモチの木」他、選りすぐりの12作品を配信しており、今後も順次作品を追加していきます。

2.「ろうどくコーナー」

古今東西の名作を音声で配信する「ろうどくコーナー」では、イソップ寓話、グリム童話、アンデルセン童話、日本の昔話や落語など、古今東西の名作物語を音声配信しています。作品は「頭のいい子を育てるおはなし366」(主婦の友社)より収録。朗読作品は、サービススタート時は10作品配信。今後も毎月追加していく予定です。



会社概要

会社名	株式会社イード (IID, Inc.)
設立	2000年4月28日
所在地	〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
資本金	873,817千円
事業内容	メディア事業 リサーチ事業 メディアコマース事業
従業員数	単体152名／連結227名
子会社	Interface in Design, Inc. 株式会社エンファクトリー 株式会社絵本ナビ 株式会社ドリームリンク 株式会社ネットショップ総研
	※2020年1月1日付で、株式会社ドリームリンクが株式会社ネットショップ総研を吸収合併し、合併後の社名を株式会社ネットショップ総研といたしました。

役員

代表取締役	宮川 洋
取締役	須田 亨
取締役○	大和田 廣樹（株式会社IOTスクエア 代表取締役会長）
取締役○	吉崎 浩一郎（株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監査役	山中 純雄
監査役○	安達 美雄
監査役○	藤山 剛（株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

◎＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	5,006,200株
株主数	2,270名

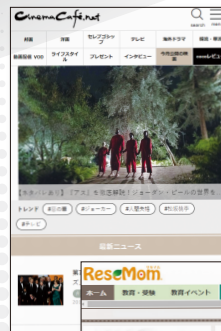
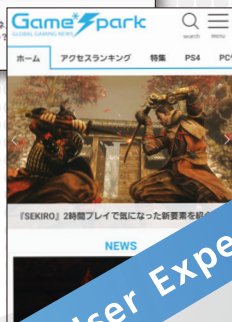
■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.25%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.43%
3	株式会社マイナビ	400,000	8.06%
4	株式会社ティーガイア	250,000	5.04%
4	株式会社ボブラ社	250,000	5.04%
6	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	4.83%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.03%
8	松井証券株式会社	135,200	2.72%
9	宮川 洋	128,500	2.59%
10	BNYM SA / NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCT E PSMPJ	106,964	2.15%

(注1) 2019年12月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。
(注2) 当社は、2019年12月31日時点で自己株式45,222株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場	東京証券取引所 マザーズ
証券コード	6038
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年6月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）



We are the User Experience Company.

上半期報告書

2020年6月期
(2019.7.1～2019.12.31)

株式会社イード

(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>

Share